

令和4年度（2022年度）

山口県公立学校教員採用候補者選考試験について

山口県公立学校教員募集

令和4年度(2022年度)

子どもの、大人の、住むまちの
笑顔をつくる 未来を拓く

（第一次試験）
東京、関西でも
実施

第一次試験 期日 令和3年7月10日(土)、11日(日) 会場 山口県内、東京、関西
第二次試験 期日 令和3年8月21日(土)、22日(日) 会場 山口県内

山口県教育委員会

- I 山口県が求める教師像
- II 令和4年度採用試験の主な変更点
- III 近年の受験者数及び名簿登載予定者数の推移
- IV 名簿登載予定者となるまでの流れ
- V 初任給について
- VI 実施要項の記載内容
- VII 新型コロナウイルス感染症等への対応について
- VIII 「緊急連絡メール」の登録について
- IX よくある質問
- X お問い合わせ先

山口県教育委員会

I 山口県が求める教師像

未来を担う子どもたちに あなたの熱い情熱を！

山口県では、教育に対する熱い情熱をもち魅力あふれる教員を求めています。

- 豊かな人間性と人権尊重の精神を身につけた人
- 強い使命感と倫理観をもち続けることができる人
- 児童生徒を共感的に理解し、深い教育的愛情をもっている人
- 幅広い教養と専門的知識、技能をもっている人
- 豊かな社会性をもち、幅広いコミュニケーションができる人
- 常に自己研鑽に努める意欲とチャレンジ精神のある人

教員採用選考試験は、これらの視点に立って実施しています。

Ⅱ 令和4年度採用試験の主な変更点

〈社会人特別選考（高等学校農業）における
特別免許状の活用〉

〈出願の全面電子申請化〉

【新型コロナウイルス感染拡大防止のための試験日
及び内容の変更】

○第一次試験

- ・ 集団面接（討議）を実施しない

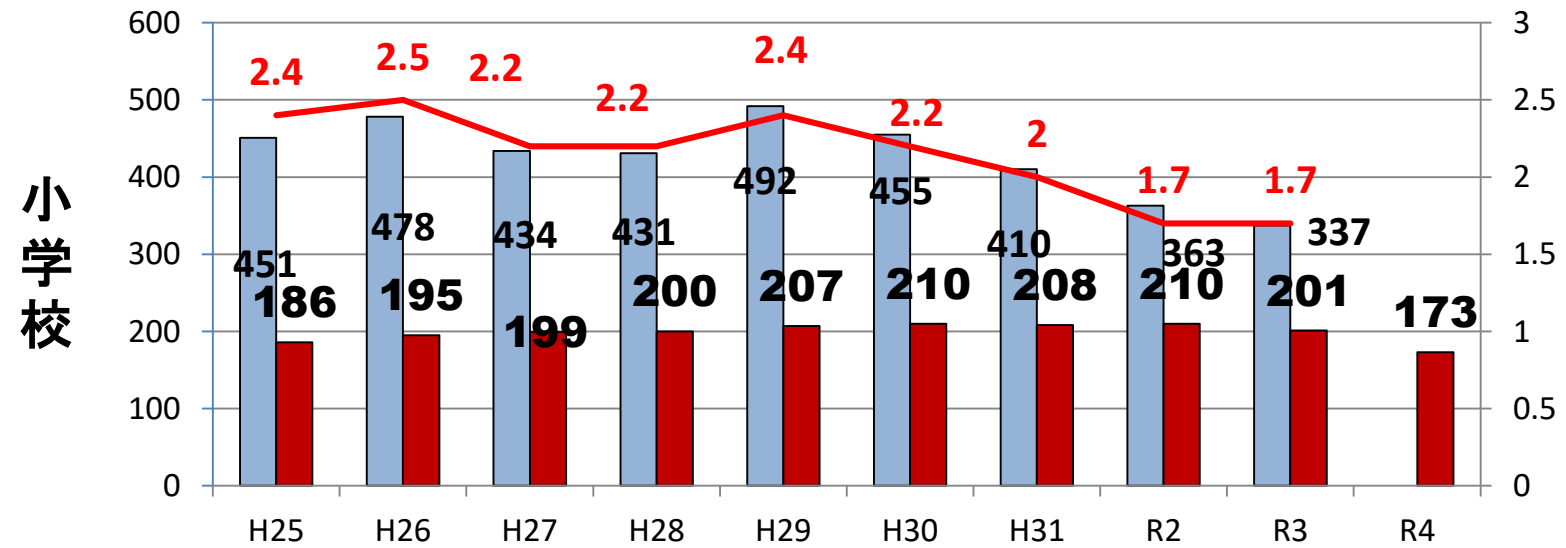
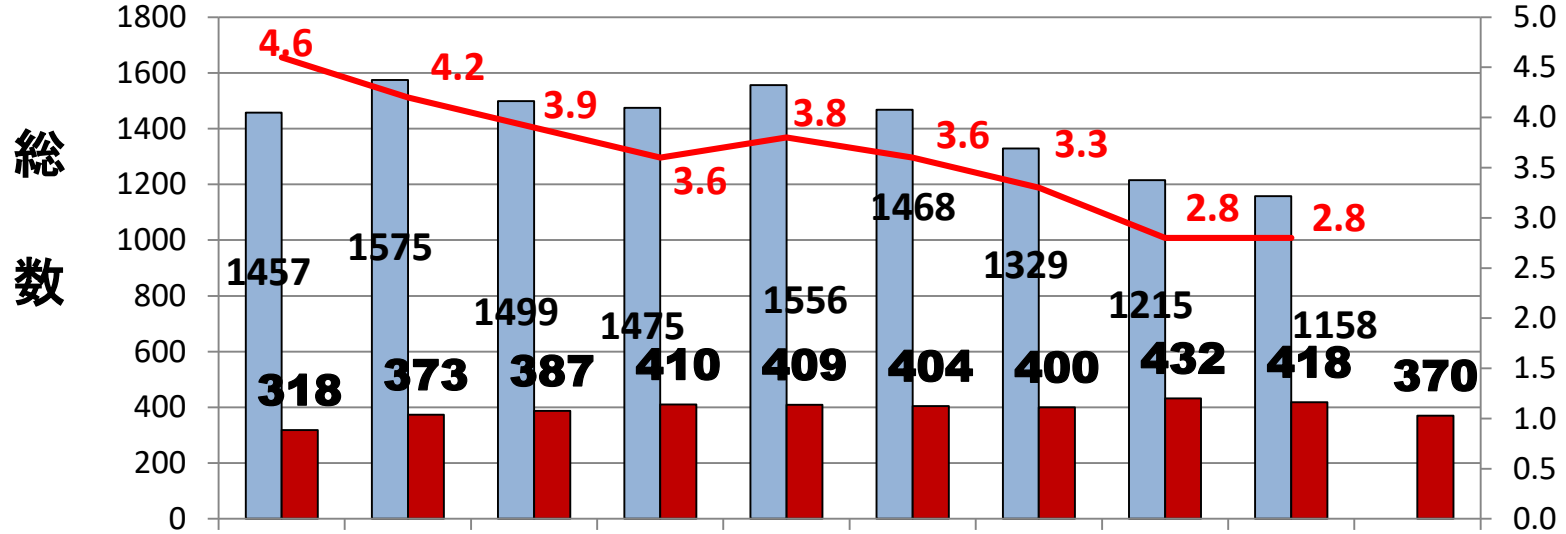
○第二次試験

- ・ 小学校の試験日を4日間から2日間に縮減
- ・ 集団面接（模擬授業及び討議）を実施しない

詳しくは実施要項で確認してください。

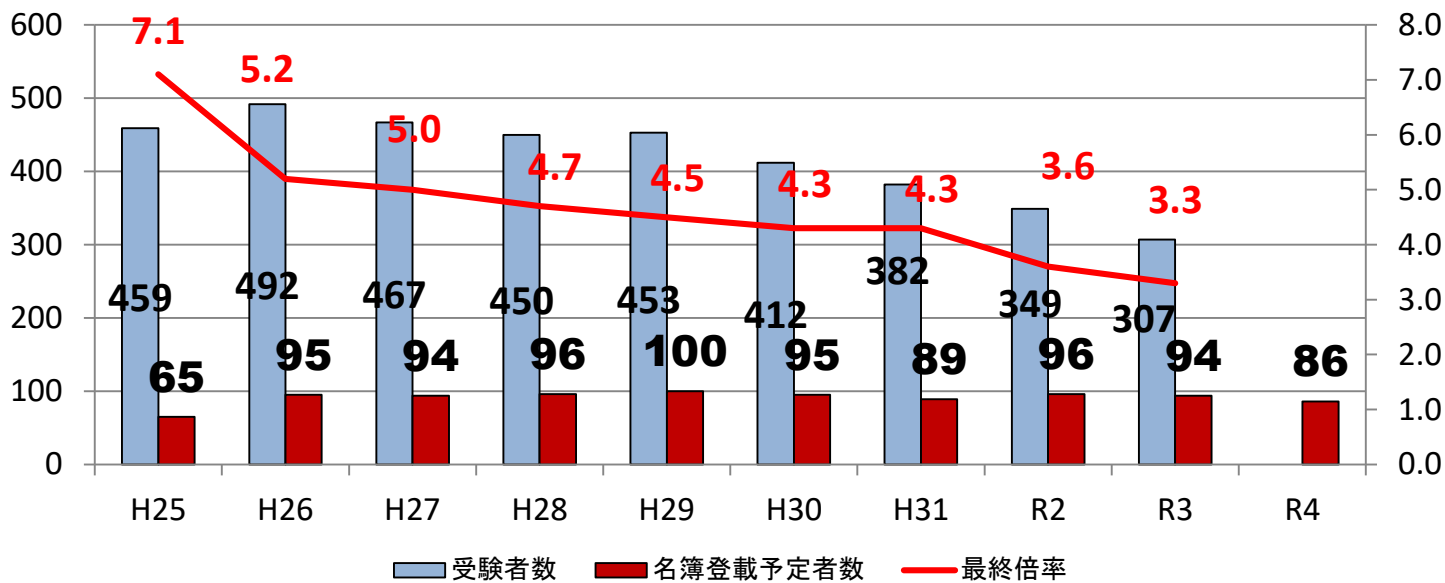
Ⅲ 近年の受験者数及び名簿登載予定者数の推移

※R4は採用見込者数

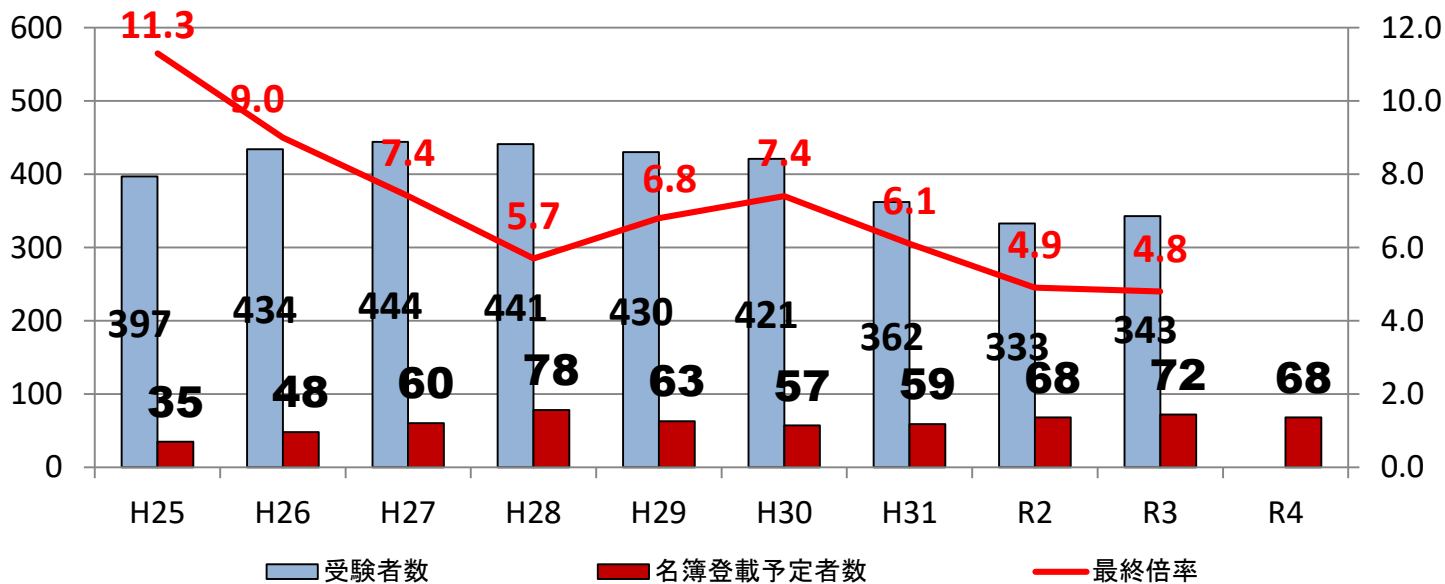


■ 受験者数 ■ 名簿登載予定者数 — 最終倍率

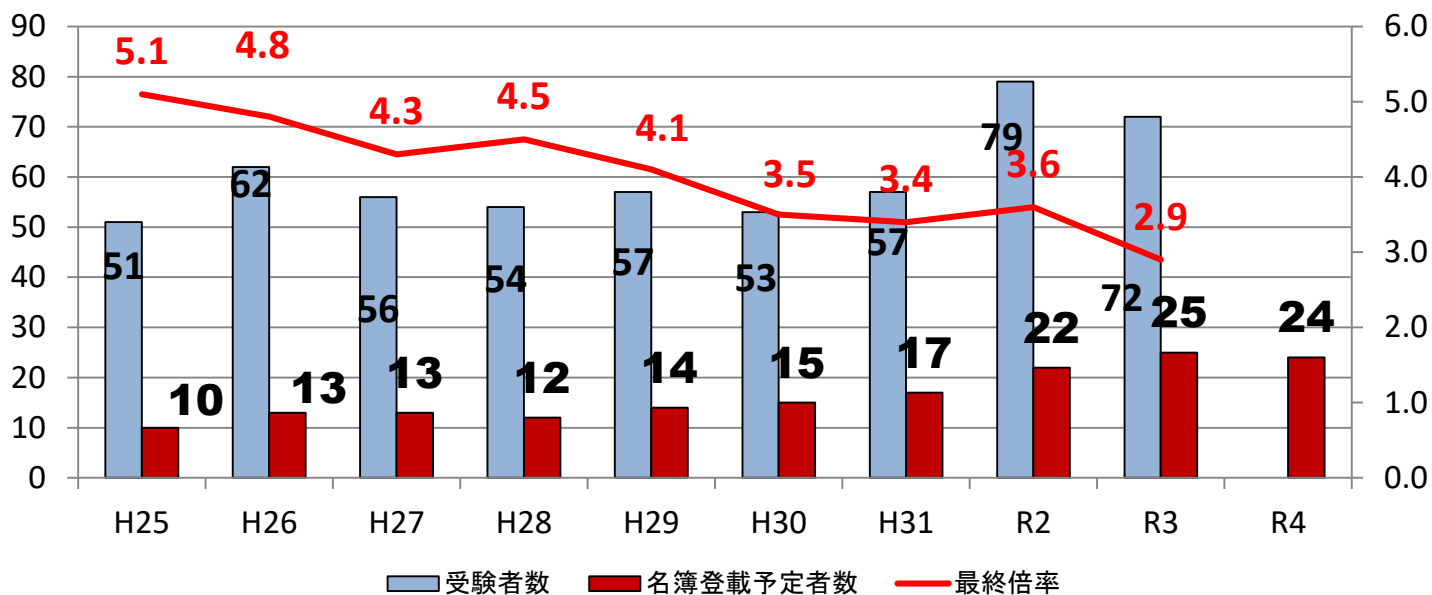
中学校



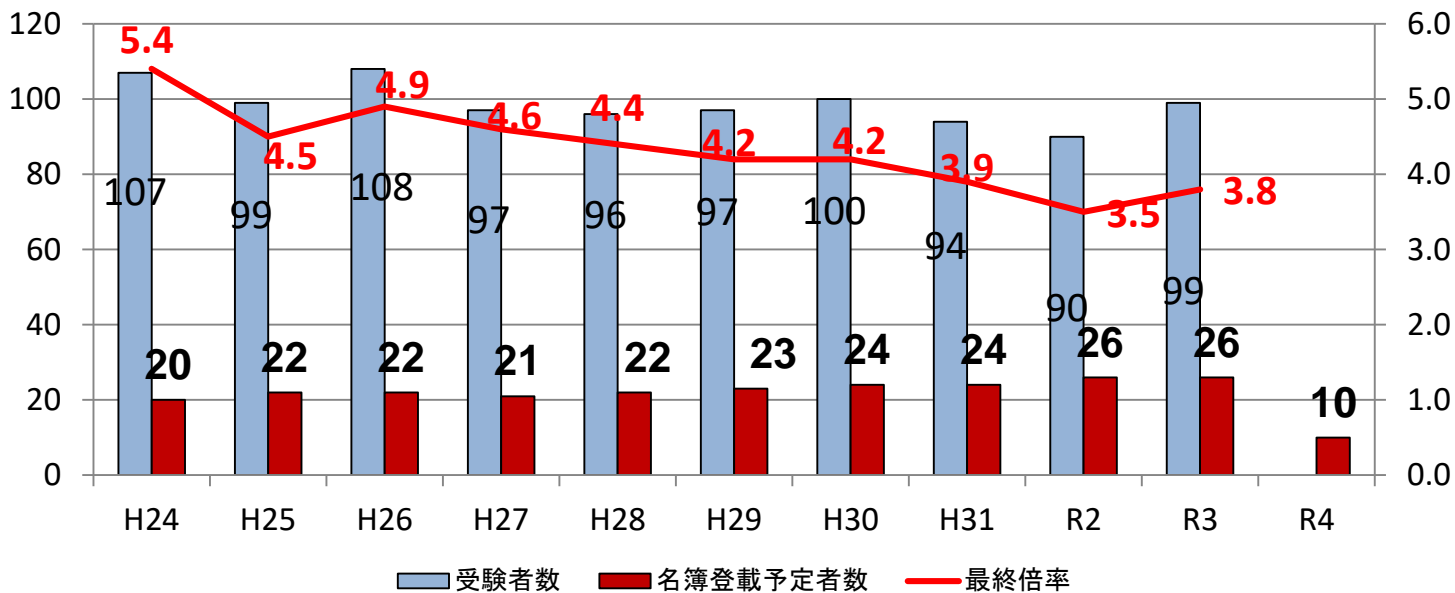
高等学校



特別支援学校



養護教諭



IV 名簿登載予定者となるまでの流れ

志願書類受付期間

5月12日（水）～5月31日（月）

インターネットによる
出願を原則とします。

受験票送付

電子メール：6月下旬

第一次試験

7月10日（土）
11日（日）

山口高校・山口中央高校・西京高校・NATULUCK
飯田橋東口駅前店4F（東京都千代田区）・神戸サ
ンセンタープラザ西館6F（兵庫県神戸市）

第一次試験結果の発表

8月4日(水)午前9時

県庁エントランスホール、教職員課ウェブページに掲載



第二次試験

8月21日(土)、22日(日)

山口高校・山口中央高校
・西京高校



第二次試験結果の発表

10月5日(火)午前9時

県庁エントランスホール、教職員課ウェブページに掲載

V 初任給について（令和3年3月1日現在）

初任給（義務教育等教員特別手当を含む）

	博士の学位を有する者	修士の学位を有する者	学士の学位を有する者	短期大学士の学位を有する者
小・中・高等学校	287,100円	244,800円	221,832円	198,444円
特別支援学校	298,400円	255,262円	231,318円	—

※各人の経歴等によって初任給は多少異なります。

※その他、扶養手当、住居手当、通勤手当、期末手当、勤勉手当等の諸手当が、それぞれの支給要件に応じて支給されます。

VI 実施要項の記載内容

令和4年度(2022年度)
山口県公立学校教員採用候補者選考試験実施要項
 山口県教育委員会

第一次試験日：令和3年7月10日(土)、11日(日)
 第二次試験日：令和3年8月21日(土)、22日(日)
 出願受付期間：令和3年5月12日(水)～5月31日(月) 17時受付終了
 (郵送による出願については当日消印有効)

実施要項をお手元に
御準備ください

1 目的
 この選考試験は、令和4年度採用予定の山口県公立学校教員採用候補者を決定するために実施するものです。

2 選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数

選考区分	一般選考・障害者を対象とした選考					
志願区分(校種等)	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	養護教諭	
教科(科目等)及び採用見込者数	173人程度	86人程度 国語 14人程度 社会 15人程度 数学 11人程度 理科 13人程度 音楽 3人程度 美術 2人程度 保健体育 13人程度 技術 1人程度 家庭 2人程度 外国語(英語) 12人程度	67人程度 国語 5人程度 地理歴史(歴史) 2人程度 (日本史) 4人程度 (地理) 2人程度 数学 9人程度 理科 (物理) 2人程度 (化学) 3人程度 (生物) 2人程度 (地学) 1人程度 保健体育 5人程度 美術 (書道) 1人程度 外国語(英語) 7人程度 家庭 2人程度 情報 2人程度 農業 1人程度 園芸 1人程度 工業 (機械系) 4人程度 (電気系) 4人程度 建築 1人程度 芸術 2人程度 音楽 5人程度 水産(漁業系) 2人程度	24人程度 小学部 9人程度 中学部 各教科1人程度を原則とし、合計9人程度 【教科(科目等)】 国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、外国語(英語) 高等部 各教科1人程度を原則とし、合計6人程度 【教科(科目等)】 国語、地理歴史(世界史、日本史、地理)、数学、理科(物理、化学、生物、地学)、保健体育、美術(音楽、美術)、外国語(英語)、家庭、情報、福祉	10人程度	
		障害者を対象とした選考：全ての志願区分(校種等)の教科(科目等) 9人程度				
選考区分	教職大学院 修了見込者 特別選考	社会人 特別選考	スポーツ・芸術 特別選考	山口県教員力向上 プログラム修了者 特別選考	博士号取得者 特別選考	養護教諭 特別選考
志願区分(校種等)教科(科目等)及び採用見込者数	全ての志願区分(校種等)の教科(科目等) 〔一般選考の採用見込者数を含む。〕	小学校、中学校及び高等学校の試験を実施する教科(科目等) 〔小学校、中学校、高等学校とも一般選考の採用見込者数を含む。〕	中学校の保健体育、音楽、美術 高等学校の保健体育、美術(書道)	小学校 〔一般選考の採用見込者数を含む。〕	高等学校の理科(物理、化学、生物、地学) 〔一般選考の採用見込者数を含む。〕	高等学校の養護教諭 1人程度

※ 採用者数は、退職者の状況等により変更することがあります。

記 載 内 容		ページ
1	目的	1
2	選考区分、志願区分（校種等）、教科（科目等）及び採用見込者数	1-2
3	受験資格	2-3
4	選考区分、志願区分別試験日程	4-5
5	選考区分、志願区分（校種等）及び教科別試験会場	5-6
6	会場及び所在地等	6
7	各試験項目における試験内容、評価の視点及び評価方法並びに選考方法	6-8
8	試験当日の携行品	9
9	試験の一部免除	10
10	選考に当たっての考慮事項	11
11	出願方法及び提出書類	12-13
12	試験問題及び解答例の公開	14
13	選考試験結果の発表等	14-15
14	志願区分（校種等）別採用候補者名簿登載者の配属校	15

各項目の概要と注意点

～実施要項を見ながら確認してください～

1 目的 p.1

2 選考区分、志願区分、教科及び採用見込者数 p.1-2

- 試験が実施される選考区分、志願区分(校種等)、教科(科目等)及び採用見込者数をよく確認

今回は募集のない教科(科目等)もある

- 併願について

- ・併願が可能な1～6の組み合わせのうち、1～3については、志願の順番は変えられない
- ・第一次試験免除者A及び第一次試験免除者Bで出願する者は併願できない

3 受験資格 p.2-3

- (3)教員免許状及びその他の要件について
 - ・社会人特別選考は、5年以上の勤務経験があっても、出願時点でその企業等に勤務していない場合は該当しないので注意
 - ・社会人特別選考(高等学校農業、工業若しくは水産)又は看護科教諭特別選考を志願する者は、普通免許状の所有及び取得見込みがない場合でも受験できる場合があるので、条件等を確認すること

4 選考区分、志願区分別試験日程 p.4-5

●【第一次試験】

- ・選考区分、志願区分、試験の一部免除により、受付時刻が異なるので注意
- ・2日目の実技試験の集合時刻は、第一次試験初日に知らせる
- ・スポーツ・芸術特別選考及び看護科教諭特別選考で受験する者は、個人面接の集合時刻は6月下旬に受験票のダウンロード時（郵送出願の場合は受験票送付の際）に知らせる

●【第二次試験】

- ・個人面接及び実技の日時等は、第二次試験前に教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ)で知らせる

5 選考区分、志願区分（校種等）及び教科別試験会場 p.5-6

●【第一次試験】

- ・中学校、高等学校の試験のうち、東京会場で受験できる教科(科目等)は限られているので、確認すること

●【第二次試験】

- ・試験会場は、第一次試験の選考結果の通知で連絡する
- ・第一次試験免除者には、8月上旬に試験会場を連絡

6 会場及び所在地等 p.6

- 各試験会場への自家用車の乗り入れや会場周辺の商業施設への駐車は厳禁

7 各試験項目における試験内容、評価の視点及び評価方法 並びに選考方法 p.6-8

- 小学校の英語資格等を有する者への加点や各種実技試験の内容等については、【別表1】～【別表3】で確認
- 【別表1】の対象となる英語の「各資格・検定試験とCEFRとの対照表」は次スライドを参照(教職員課ウェブページにも掲載)
- 実技試験に必要な服装及び用具等は、「8 試験当日の携行品」(9ページ)で確認

各資格・検定試験とCEFRとの対照表

文部科学省（平成30年3月）

CEFR	ケンブリッジ 英語検定	実用英語技能検定 1級-3級	GTEC Advanced Basic Core CBT	IELTS	TEAP	TEAP CBT	TOEFL iBT	TOEIC L&R/ TOEIC S&W
C2	230 200			9.0 8.5				
C1	199 180	3299 2600	1400 1350	8.0 7.0	400 375	800	120 95	1990 1845
B2	179 160	2599 2300	1349 1190	6.5 5.5	374 309	795 600	94 72	1840 1560
B1	159 140	2299 1950	1189 960	5.0 4.0	308 225	595 420	71 42	1555 1150
A2	139 120	1949 1700	959 690		224 135	415 235		1145 625
A1	119 100	1699 1400	689 270					620 320

➡ は各級合格スコア

※括弧内の数値は、各試験におけるCEFRとの対象関係として測定できる能力の範囲の上層と下層

○ 表中の数値は各資格・検定試験の定める試験結果のスコアを指す。スコアの記載がない欄は、各資格・検定試験において当該欄に対応する能力を有していると認定できないことを意味する。

※ ケンブリッジ英語検定、実用英語技能検定及びGTECは複数の試験から構成されており、それぞれの試験がCEFRとの対照関係として測定できる能力の範囲が定められている。当該範囲を下回った場合にはCEFRの判定は行われず、当該範囲を上回った場合には当該範囲の上限に位置付けられているCEFRの判定が行われる。

※ TOEIC L&R/ TOEIC S&Wについては、TOEIC S&Wのスコアを2.5倍にして合算したスコアで判定する。

※ 障害等のある受検生について、一部技能を免除する場合等があるが、そうした場合のCEFRとの対照関係については、各資格・検定試験実施主体において公表予定。16

8 試験当日の携行品 p.9

- 筆記試験、実技試験でそれぞれ必要な携行品を確認
- 体育館で実施される実技試験を受ける者は、上履きとは別に体育館専用のシューズを忘れず持参すること
- 提出書類については、「11 出願方法及び提出書類」(12ページ)で確認すること
- **試験時間中に、携帯電話やスマートフォン、スマートウォッチ等を時計として使用することは認めない**
- 第二次試験では適性検査を行うので、鉛筆を忘れず持参すること
- 昼食は、第一次試験、第二次試験ともに必要に応じて各自で持参

9 試験の一部免除 p.10

- 「第一次試験免除者B」及び「教職専門免除者A」について
 - ・ 出願時点で他の都道府県の国公立学校を退職している場合は該当しないので注意
 - ・ 「第一次試験免除者B」について、勤務校が義務教育学校又は中等教育学校である場合の「同一志願 区分」の判断については、教職員課まで問い合わせを

10 選考に当たっての考慮事項 p.11

- 司書教諭資格取得者
 - ・令和4年3月31日までに発行された学校図書館司書教諭の講習修了証書が取得できる者に限る→大学で必要な単位を修得しただけでは考慮の対象にはならない
- 選考に当たっての考慮事項に示す教員免許状等を取得する見込みの者が、令和4年3月31日までに免許状等を取得できない場合は、採用試験に合格しても採用候補者名簿に登載しないことがある

11 出願方法及び提出書類 p.12-13

- (1)出願方法について
 - ・インターネットによる出願を原則とする
 - ・郵送の場合は簡易書留とし、5月25日以降に発送する場合は、速達にすること
- (2)提出書類について
 - ・注意事項(13ページ)をよく読んで、必要な書類を揃えること
 - ・教職専門免除者B申請書、在職証明書、資格証明書等の提出が必要な者は、インターネット出願後に郵送することを忘れないこと

インターネット（電子申請）による出願について

パソコンの環境 設定

- 利用できるパソコンの確認とやまぐち電子申請サービスの利用環境を設定

ユーザ登録

- 利用者登録し、利用者IDを取得

志願書類 作成・申込み

- 自己推薦票等をダウンロード・作成
- やまぐち電子申請サービスにログインして志願書を作成
- 志願書に自己推薦票等を添付し提出

受験票・整理票 受領

- 「通知書発行のお知らせ」の到着後、やまぐち電子申請サービスにログインし、受験票・整理票をダウンロード
- ダウンロードした受験票・整理票を印刷、写真貼付・署名して第一次試験当日に持参

第一次試験受験

※出願に関する詳細は、山口県教職員課のウェブページから「インターネットによる出願はこちら」をクリックしてください。

12 試験問題及び解答例の公開 p.14

- 山口県庁内の情報公開センターでのみ、試験問題及び解答例のコピーが可

13 選考試験結果の発表等 p.14-15

- 第一次試験の合格者及び第一次試験免除者には、第二次試験の日程、受験会場、携行品について通知
- 第一次試験を受験し、第二次試験で不合格になった者のうち、総合評価ランクがA又はBである者は次の年の採用試験で「第一次試験免除者A」になる(条件等の詳細は実施要項を確認すること)
- [採用候補者名簿登載予定者に対する留意事項]にしっかり目を通す
 - ・採用試験に合格しても採用候補者名簿に登載されない場合がある
 - ・大学院進学又は修学継続による採用の延期を申し出ることができる

14 志願区分（校種等）別採用候補者名簿登載者の配属校

p.15

- 志願区分が小学校、中学校、高等学校で採用候補者名簿に登載されていても、配属校が特別支援学校になる場合がある
- 複数の教員免許状を所有している場合は、志願した教科以外の教科を担当することがある

その他 p.16

- 試験当日の服装はクールビズで
- 試験実施に関する緊急連絡について
 - ・山口県教育庁教職員課のウェブページ(教員採用試験専用ページ)で随時確認
 - ・コロナウイルス感染症による緊急連絡は、「緊急連絡メール」でも行うため、受験者は登録を(詳細は後のスライドを参照)

VII 新型コロナウイルス感染症等への対応について

受験に当たっては、以下の点に留意してください。

1 マスクの着用

試験当日は感染予防のため、マスクの持参・着用を

2 手指消毒、体温測定及び健康状態の確認

会場への入場の際は、手指のアルコール消毒、体温測定、健康状態確認票※の提出に御協力を

※健康状態確認票は山口県教育庁教職員課のウェブページ（教員採用試験専用ページ）からダウンロード可能。プリントアウトして試験日ごとに当日の朝記入して持参

3 試験室の換気

換気のために窓やドアなどを開ける場合があるので、室温に対応できる服装を（クールビズを実践しているので、ネクタイ・上着の着用は特に必要なし）

4 体調不良の方

次の方は当日の受験を控えていただくようお願いします。

- 新型コロナウイルス感染症などに罹患し治癒していない方
- 保健所から「濃厚接触者」として判断され、自宅待機を要請されている方
- 新型コロナウイルスの感染が疑われる方
(①発熱、②咳などの風邪症状、③強いだるさ、④息苦しさ等のいずれかの症状がある)

なお、これらを理由とした欠席者向けの試験の再実施は予定しておりません。

Ⅷ 「緊急連絡メール」の登録について

新型コロナウイルス感染症拡大防止のために試験実施に関する変更が生じる場合等には、このメールを通じて連絡します。

○インターネットで出願する方

電子申請システム登録時に必要となるメールアドレスを緊急連絡メールとして登録（とくに手続の必要なし）

○電子申請システム登録したものと異なるメールアドレスを登録したい方、郵送による出願をする方

下の登録方法により登録

【登録方法】

- 緊急連絡専用アドレス saiyoukinkyuu@pref.yamaguchi.lg.jp 宛てにメールを送信する。
- 件名に、「氏名(カナ)」、「氏名(漢字)」の順で入力する(本文に何も入力しない。)。《例:ヤマグチキョウコ、山口教子》
- ※ 登録確認メールは返信しませんので御了承ください。
- ※ 登録された情報は、山口県公立学校教員採用候補者選考試験に関する緊急連絡以外には使用しません。

【登録期間】5月12日(水)～5月31日(月)

- ※ 郵送による出願をする方は登録したかどうかについて、志願書の所定の欄に記入してください。



メールアドレスQRコード

IX よくある質問

Q1 昨年取り寄せた、成績証明書は提出可能ですか。

A 可能です。年数の制限はありません。

Q2 結婚して改姓したのですが、どのような書類が必要ですか。

A 氏名の変更が確認できる書類が必要となります。

例えば、戸籍抄本、戸籍の記載事項証明書等です。

Q3 「小一種」を既に取得していますが、令和4年3月末までに「小専修」を取得見込みの場合は、どちらを提出することになりますか。

A「小専修」の取得見込証明書を提出してください。

(同一校種・教科等の場合は、上位の免許状を提出する。)

Q4 免許状取得見込証明書を出してもらえないのですが。

A 免許を授与されるのに必要な単位の修得・受講状況がわかる書類を提出してください。

Q5 今年度の「免許法認定講習」の受講により、令和4年3月までに、特別支援学校教諭二種免許状を取得できる見込みですが、特別支援学校の志願区分の受験資格はありますか。

A 「すでに修得された単位修得証明書」、今年度の「免許法認定講習受講許可書（県教委から送付されるハガキの裏面）の写し」及び「教職経験年数（3年以上）が確認できる辞令の写し」を併せて提出してください。これらを確認した上で、受験資格の有無を判断します。

Q6 郵送で出願する場合、5月31日の24時までに郵便局に投函すれば、期限内ということで受理してもらえますか。

A 5月31日の消印があれば有効です。郵便局の窓口で「5月31日の消印となるか」を確認してください。その際は必ず速達で送付してください。

Q7 実施要項の「選考にあたっての考慮事項」に記載されていない資格等をもっていますが考慮されますか。

A 実施要項に記載のない資格等については考慮の対象になりません。

Q8 TOEFLのスコアは、2年間有効ですが、TOEFL (iBT) で令和元年7月に取得したスコアが基準を満たしている場合、今回の試験で考慮されますか。

A 第一次試験の実施日（7月10日）に有効（2年以内）であれば考慮されます。

Q9 今年度の講習の受講により、学校図書館司書教諭の講習の修了証書が授与される見込みであるため、現時点では手元にありませんが、考慮してもらえますか。

A 見込みの場合、学校図書館司書教諭講習規定に定める10単位を修得し、令和4年3月31日までに発行された学校図書館司書教諭の講習の修了証書が取得できる者に限り考慮します。

なお、その者が採用候補者名簿登載予定者となった場合は、令和4年3月31日までに「講習の修了証書の写し」又は「単位修得証明書と修了証書交付申請書の写し」の提出が必要です。取得できない場合は採用候補者名簿に登載しないことがありますので御注意ください。

Q10 第一次試験合格者はどのようにして決定しているのですか。

A 実施要項に示している〔第一次試験〕の〈選考方法〉のとおり、「第一次試験における各試験項目の評価結果をもとに、考慮事項及び出願時の提出書類等を総合的に判断しながら、人物を重視した選考を実施」します。

Q11 第一次試験の結果は第二次試験の結果に反映されるのですか。

A 実施要項に示している〔第二次試験〕の〈選考方法〉のとおり、「第二次試験における各試験項目の評価結果をもとに、考慮事項及び出願時の提出資料等を総合的に判断しながら、人物を重視した選考を実施」します。

よって、第一次試験の結果は、第二次試験の結果に反映されません。

X お問い合わせ先

●過去の試験問題

- 山口県情報公開センター（山口県庁 1 階）

TEL:083-933-2578

※過去5年分の試験問題と解答例を公開

●採用試験に関すること

- 山口県教育庁教職員課（山口県庁 1 4 階）

TEL:083-933-4550

